

質問者



松本一二美 議員

Q 防災リーダーの育成を

A 防災士資格・受講料助成を考慮

問 自主防災組織結成に地域格差があり中心になつて活躍する防災リーダーの育成が必要。各地域から人選し、防災士の育成・資格取得のために町の助成実施を。

答 白石町長
自主防災組織結成は、現在、24地域中7地域です。6地域が準備中です。防災活動経験がある消防団OBの方々が中心的防災リーダーとして、防災士資格取得のための受講料助成を考慮します。

問 災害弱者の緊急対応策は

答 要援護者避難
現在、地域防災計画の改定作業を行っており、避難支援プランも策定中です。登録と避難誘導ボランティア体制は、自主防災組織や民生委員さんなどの協力をお願いしながら、確立していきたいと考えております。

問 要援護者避難プランの策定は。災害弱者の登録制度と災害時避難誘導ボランティア制度の実施の考えは。

問 防災メール配信を

答 配信は可能
安心安全メールは現在359人が登録し運用しており、個人登録すれば情報配信は可能です。防災行政無線は、鋭意改善を図っていきます。

問 「AED」設置と貸し出しを

答 計画的に設置
永見総務課長
役場閉庁日で、要望があれば貸し出します。今後、小・中学校、松前公園の体育館、文化センターでの行事等、大勢が集まる所でAEDが利用できるよう、計画的にAEDを設置していきます。



防災教室

問 ブックスタートの実施を

答 贈呈は検討
永田福祉課長
今年度は、ブックスタート事業に協力してくれるボランティアの養成と、乳幼児健診時にスムーズな運営を模索しています。蔵書を貸し出す形式で運営し、絵本の贈呈は、財政状況を見て検討します。



庁舎のAED